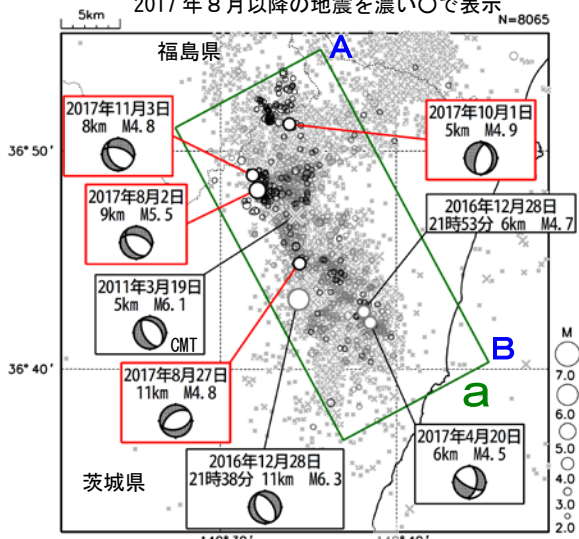
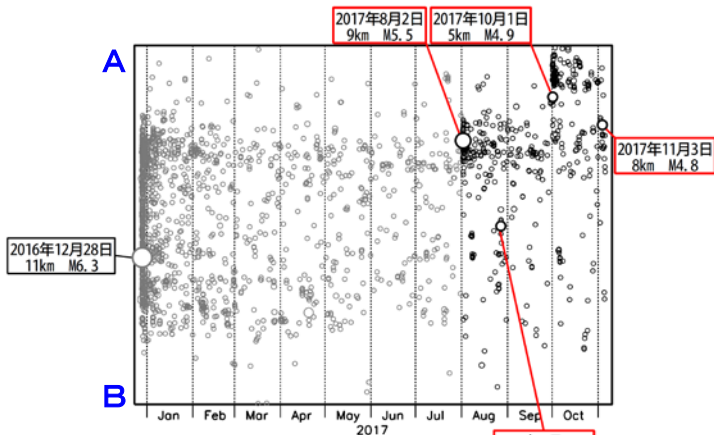


2016年12月28日からの茨城県北部の地震活動

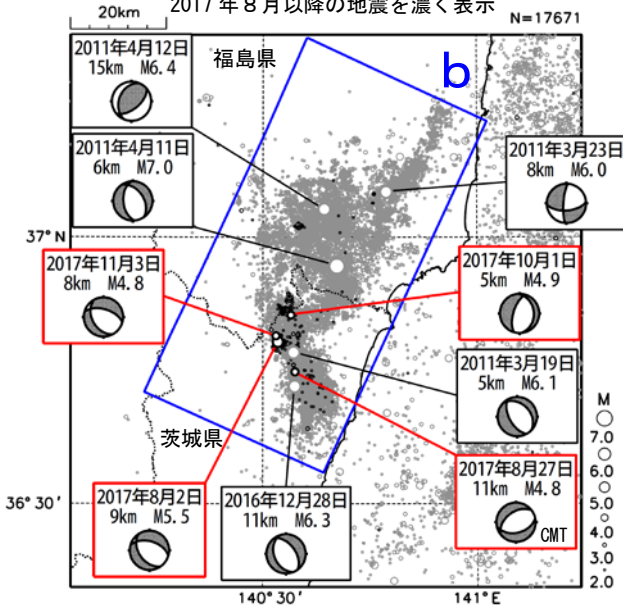
震央分布図
 (2011年1月1日～2017年11月5日、
 深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
 2016年12月27日までの地震を薄い×で表示
 2016年12月28日から2017年7月31日の地震を薄い○で表示
 2017年8月以降の地震を濃い○で表示



領域a内の時空間分布図 (A-B投影)
 (2016年12月28日～2017年11月5日、 $M \geq 1.5$)



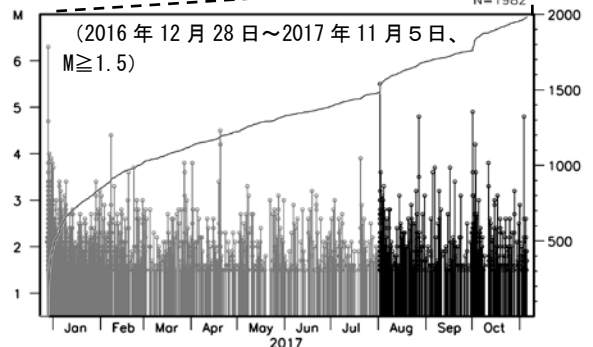
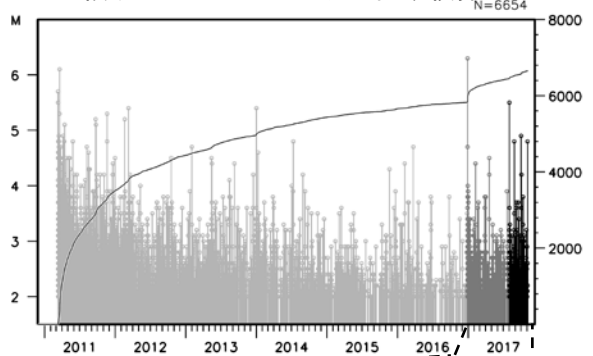
震央分布図
 (1997年10月1日～2017年11月5日、
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
 2017年8月以降の地震を濃く表示



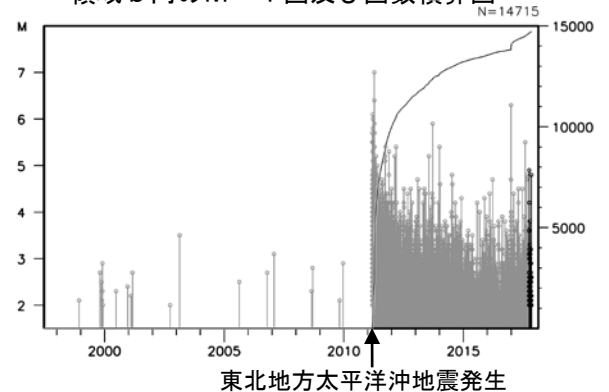
2016年12月28日のM6.3の地震 (最大震度6弱) の発生以降にまとまった地震活動がみられている領域およびその周辺 (領域a) では、今期間 (2017年8月～10月)、8月2日にM5.5の地震 (最大震度4)、8月27日にM4.8の地震 (最大震度3)、10月1日にM4.9の地震 (最大震度3)、11月3日にM4.8の地震 (最大震度3) が発生するなど地震活動が活発な状況が継続している。この地震活動は地殻内で発生した。領域a内では、最大震度1以上を観測する地震が8月1日から11月5日までに36回 (震度4: 1回、震度3: 4回、震度2: 9回、震度1: 22回) 発生している。

1997年10月以降の活動をみると、福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内 (領域b) では、東北地方太平洋沖地震の発生後に地震活動が活発化し、2011年4月11日に発生したM7.0の地震では、死者4人等の被害が生じた (被害は総務省消防庁による)。この活発な地震活動は現在も継続している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図及び回数積算図



東北地方太平洋沖地震発生

気象庁作成